

チーム学校としての授業改善による学力向上

京極町立京極中学校 学級数3 (校長 林 尚起)

実践の概要

本校は、平成27年より町内小・中学校共通の授業展開「京極スタンダード」を軸にしながら授業改善に取り組んできた。今年度は、教員の資質能力の向上に向けた校内研修による授業改善を通して、生徒の思考力・判断力・表現力等の育成と自主的・自律的な学習への転換を図っている。

1 実践の目的

令和4年度全国学力・学習状況調査では、数学の思考力、判断力、表現力等に課題が見られ、生徒質問紙の「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の設問では、肯定的に回答した生徒の割合が全国を下回った。また、生徒は、まじめで決められたことには素直に取り組む一方、自ら行動することが苦手な傾向があり、教員が出した宿題には取り組むが、自身の課題に応じた学習を適切に選択・判断して取り組むことに課題が見られる。このような実態を踏まえ、生徒の思考力・判断力・表現力等を伸ばし、自らの学びを調整する力を高めるために、授業改善を中核とした取組を進める。

2 実践内容

(1) 実施計画

諸調査の分析と改善点の焦点化を図り、その改善点を軸とした研修を行う。各教科担当教員は、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けたICTの活用を進めるとともに、生徒が自分の課題を把握し、必要な家庭学習に主体的に取り組む力を育むために、授業の振り返りを徹底する。

(2) 取組の具体

教務主任と校務運営委員会が諸調査の結果を分析して課題を抽出し、研修では、その課題を授業改善のテーマとして設定し、教員相互の授業参観を行うとともに、ワークショップ型の研修を通して授業改善の具体的方策を検討する。また、各教科担当教員は、1人1台端末の効果的な活用と協働的な学びの工夫についての事例を蓄積し、実践交流を行う。振り返りについては、「京極スタンダード」の位置付けとして取り組むだけではなく、教員側がまとめと振り返りの違いを意識した授業づくりを進めるとともに、生徒が自分の課題を把握し、必要な家庭学習に主体的に取り組む意識を高める方策を検討する。

第1回授業改善研修での「振り返り」活動の整理	
重点	「自力解決」(＝振り返るべき活動)の工夫
重点	自学・次学へつなげる「振り返り」の工夫
A	何を学習したか、習得したか、何ができるようになったか、など Aの積み重ねによって...
B	どのような力がついたか、課題が明確になったか、どう認識が変化したか、 自分なりの解釈をもてたか、新たな気付きを得たか、など 毎回の授業ではAの振り返りの様子が多く見られるが、単元のまとまりなどにおいて、「教師の発問」「教材」の工夫でBの振り返りに昇華することで、重点の自学・次学へつなげるのではないかと、AなくしてBはないことも念頭に置くこと。 「目的のある「振り返り」活動」
授業参観の視点	(参考になる＝緑 改善できそう＝淡緑 その他＝緑なし)
教員を活かす自力解決の手立てなど	
振り返りの種類(A・B・その他)、時間、生徒の取組みなど	

【授業参観シート】

(3) 取組後の点検・評価、工夫改善

令和5年度全国学力・学習状況調査では、全教科において平均正答率が全国を上回った。また、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問においても、肯定的に回答した生徒の割合が、全国を大きく上回った。校内研修では、成果として振り返りの習慣化と、まとめと振り返りの違いを再確認できたことの2点が挙げられた。課題として、生徒が自力解決の場面で考えることはできても、自分の考えを書き表す力が十分ではなく、思考力・判断力・表現力等をさらに育成する必要があることが明らかになった。また、教員が生徒と共に振り返りの目的を共有し、家庭学習の質の向上を図る必要性も挙げられた。これらの成果と課題を踏まえ、「アウトプットする力」の育成に取り組む必要があることを全教員で確認し、工夫改善の取組を行った。

(4) 改善後の取組

教員相互の授業参観を通して「アウトプットする力」について目指す生徒の具体的な姿と「家庭学習につなげる振り返り」の手立てについて全教員で共通理解を図った。また、生徒が自らの課題を把握し、自身の課題解決に向けて学習するために、端末上に蓄積した生徒の「振り返り」を全教員で共有するとともに、各種研修への参加促進や校内研修での還元などを通して、学校全体で教員の資質能力のボトムアップを行っている。これらの取組によって、学校課題の焦点化と共通実践の徹底が図られた。また、教科の枠を越えて生徒の資質・能力の育成に向けた授業改善が進むとともに、ミドルリーダーの主体的な校務運営と教員全体の学校経営参画意識が高まった。



【端末での振り返りの記入】

3 実践のポイント

- ・ミドルリーダーが主体となり調査データの分析・改善策の提示を行い、各教科担任がその改善に向けて具体化した実践を交流する研修を行うこと
- ・教員相互の授業参観を行い、課題の共有や各教科の視点を生かした取組の改善を図ること